

緊急シンポジウム

米朝核危機と日本

— 平和的解決を求めて —

2017年11月4日(土) 午後1時～5時

東京大学駒場Iキャンパス18号館ホール

主催：「緊急シンポジウム 米朝核危機と日本」実行委員会
(東京大学韓国学研究所、早稲田大学韓国学研究所)

後援：岩波書店、新外交イニシアティブ

協力：庭野平和財団

式次第

1. 開会 (13:00)
2. 実行委員会挨拶 岡本厚 (株式会社岩波書店代表取締役社長)
3. 来賓挨拶 河野洋平 (元衆議院議長、元外務大臣)
4. 問題提起 遠藤誠治 (成蹊大学教授)
5. 講演
「米朝戦争の危機と日本の針路」柳澤協二 (元内閣官房副長官補)
6. 報告
「北朝鮮の論理と現状」平井久志 (共同通信客員論説委員)
「韓国はどう考えるか」全在晟 (ソウル大学教授)
- 休憩
7. 総合討論
コーディネーター 李鍾元 (早稲田大学教授)
討論参加者 尾形聡彦 (朝日新聞オピニオン編集部次長兼機動特派員)
朱建栄 (東洋学園大学教授)
木宮正史 (東京大学教授)
美根慶樹 (元日朝国交正常化交渉政府代表)
和田春樹 (東京大学名誉教授)
8. 閉会挨拶
9. 閉会 (17:00 (予定))

- ・開会中の撮影、録音はご遠慮くださいますよう、お願い申し上げます。
- ・開会中、携帯電話はマナーモードに設定するか、電源をお切り下さい。
- ・ご記入いただいたアンケート用紙は、お帰りの際、受付にお渡しく下さい。

登壇者略歴 (登壇順、討論参加者50音順)

河野洋平 こうの・ようへい

1937年、神奈川県生まれ。1967年、30歳で衆議院議員に当選して以来、2009年に政界を引退するまで連続14回当選。1992年、宮沢内閣の官房長官、1993年に自民党総裁に就任。1994年、自社さ連立の村山内閣に副総理・外務大臣として入閣。1999年、第二次小渕改造内閣で外務大臣に再任し、続く森内閣でも留任。2003年から09年まで衆議院議長をつとめる。著書に『日本外交への直言 回想と提言』（岩波書店）など。

遠藤誠治 えんどう・せいじ

1962年、滋賀県生まれ。東京大学法学部および法学政治学研究科修士課程修了後、同大学法学部助手を経て、現在、成蹊大学法学部教授。専門は国際政治学。『シリーズ 日本の安全保障』（岩波書店、全8巻）第1巻・第2巻の編者をつとめる。著書に『グローバリゼーションとは何か』（かわさき市民アカデミー出版部）、『普天間基地問題から何が見えてきたか』（共編、岩波書店）。

柳澤協二 やなぎさわ・きょうじ

1946年、東京都生まれ。1970年、東大法卒・防衛庁入庁。運用局長・人事教育局長・官房長・防衛研究所長などを歴任。2004年から09年にかけて、第2次・第3次小泉・第1次安倍・福田・麻生政権で内閣官房副長官補（安全保障・危機管理担当）。現在、国際地政学研究所理事長、自衛隊を活かす～21世紀の憲法と防衛を考える会代表。著書に『官邸のイラク戦争』『亡国の安保政策 積極的平和主義の罨』（岩波書店）など。

平井久志 ひらい・ひさし

ジャーナリスト。1952年、香川県生れ。1975年、早稲田大学法学部卒業、共同通信社に入社。ソウル支局長、北京特派員、編集委員兼論説委員などを経て2012年3月に定年退社。現在、共同通信客員論説委員。2013年から2017年9月まで立命館大学客員教授。2002年、瀋陽事件報道で新聞協会賞受賞。同年、北朝鮮経済改革などの朝鮮問題報道でボーン・上田記念国際記者賞受賞。著書に『北朝鮮の指導体制と後継 金正日から金正恩へ』（岩波現代文庫）など。

全在晟 チョンジェソン

ソウル大学政治外交学部教授。東アジア研究院国際関係センター所長。現在、慶應義塾大学訪問教授として滞日中。韓国政府の外交部、国防部、統一部諮問委員、民主平和統一会議常任委員、統一準備委員会委員など要職を歴任。専門は国際政治理論、国際関係史、東アジア安保論、韓国外交政策論など。ソウル大学外交学科卒、同大学院修士課程修了、アメリカ・ノースウェスタン大学博士課程修了（国際政治学博士）。著書に『東アジア国際政治 歴史から理論へ』（韓国語）、『政治は道徳的か？ ラインホルド・ニーバーの超越的現実主義』など。

李鍾元 リージョンウォン (討論司会)

1953年、韓国生まれ。早稲田大学大学院アジア太平洋研究科教授。同韓国学研究所所長。82年来日し、国際基督教大学卒業後、東京大学大学院法学政治学研究科修士課程修了。法学博士。専門は国際政治、現代朝鮮半島研究。2012年から現職。米国プリンストン大学客員研究員、韓国大統領諮問政策企画委員など歴任。主な著書に、『戦後日韓関係史』(共著、有斐閣、2017年)、『東アジア 和解への道』(共編著、岩波書店、2016年)など。

尾形聡彦 おがた・としひこ

1969年生まれ。朝日新聞オピニオン編集部次長兼機動特派員。慶応大学卒。1993年、朝日新聞入社。米スタンフォード大客員研究員をへて、2002年から米サンノゼ特派員、08年にロンドン特派員、09年から12年まで米ワシントン特派員としてホワイトハウスを取材。15年から機動特派員、16年からオピニオン編集部次長兼務。日本の財務省・政策キャップ、経済部次長、国際報道部次長も務めた。著書に『乱流のホワイトハウス トランプvs.オバマ』(岩波書店)。

木宮正史 きみや・ただし (総合司会)

東京大学大学院総合文化研究科教授、韓国学研究センター長。東京大学法学部卒、同大学院法学政治学研究科博士課程単位取得退学、韓国高麗大学大学院博士課程修了(政治学博士)。単著『国際政治のなかの韓国現代史』『ナショナリズムから見た朝鮮近現代史』(近刊)など。共編著『歴史としての日韓国交正常化ⅠⅡ』『岩波シリーズ日本の安全保障6 朝鮮半島と東アジア』など。専門は、朝鮮半島地域研究、国際政治学。

朱建栄 しゅけんえい

1957年、上海生まれ。華東師範大学外国語学部卒、1986年来日。92年、学習院大学で博士号(政治学)取得。1996年、東洋学園大学教授、現在に至る。著書に『毛沢東の朝鮮戦争』(岩波書店)、『毛沢東のベトナム戦争』(東大出版会)、『中国外交 苦難と超克の100年』(PHP)など。訳書に『最後の天朝 毛沢東・金日成時代の中国と北朝鮮』(岩波書店)など。『外交』に「中朝『血の同盟』という幻想——大転換した中国外交」を寄稿。

美根慶樹 みね・よしき

平和外交研究所代表。1968年、東京大学卒業後、外務省入省。86年、在中国大使館参事官(政治部長)、88年、在OECD代表部参事官。外務省経済局や内閣外政審議室など欧州関係の部署を歴任し、1999年、防衛省国際担当参事官。2001年、在ユーゴスラビア連邦共和国特命全権大使。04年、在軍縮代表部特命全権大使。07年、日朝国交正常化交渉日本政府代表。09年に外務省退官、キャノングローバル戦略研究所研究主幹。2014年より現職。

和田春樹 わだ・はるき

1938年生まれ。東京大学名誉教授。日朝国交促進国民協会理事・事務局長。歴史学者、ロシア近現代史・現代朝鮮研究。著書『朝鮮戦争全史』(岩波書店)、『北朝鮮現代史』(岩波新書)、『「平和国家」の誕生』(岩波書店)、『スターリン批判1953-1956』(作品社)、『米朝戦争をふせぐ——平和国家日本の責任』(青灯社)など。